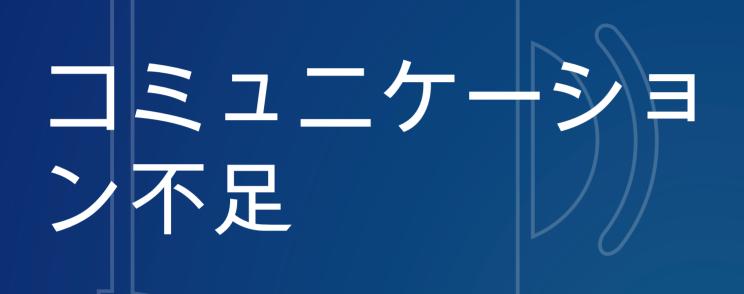
航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します







コロナ禍の状況下においては、「ダーティー·ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えるとコミュニケーション 不足が目立つ傾向があります。



私たち(作業者、技術者、マネージャ)一人ひとりが

より効率的なコミュニケーションをは かるよう心がける必要があります。

- ✓ 完了した作業とそうでない作業について口頭または書面で明確かつ詳細に伝えましょう。
- ✓ メッセージが相手に伝わったか確認 しましょう。
- ✓ 作業が終わったと思い込んではいけません。



航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します







コロナ禍の状況下においては、「ダーティー·ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、プレッシャーが高 まる傾向があります。



コロナ禍による感染予防対策を実施する中で、納期に間に合わせなければ、 というプレッシャーがさらに高まって いる可能性があります。

- ✓ 自分自身にプレッシャーをかけない ようにしましょう。
- ✓ もう少し時間が必要だと思う場合に はそう伝えましょう。
- ✓ 時間がない場合は、他の人に助けを 求めましょう。



航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します

注意力の欠如





コロナ禍の状況下においては、「ダーティー·ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、注意力の欠如が顕 著になる傾向があります。



この前代未聞の状況下で、私たちの日常生活の中にはさらに注意力が阻害される要素が増えています。作業に集中できないと、私たちは実際よりも先のプロセスに進んでいると思い込む場合があります。

- ✓ 集中できる状態になったら、すでに 完了したステップを見直し、自分が どの段階で作業をしていたか確認し ます。
- ✓ 操作を中断する場合は、どこで中断 したか正確にメモを取るようにしま しょう。
- ✓ 集中力を阻害する要因を最小限に抑えるよう作業スペースを整理しましょう。 (携帯電話の電源を切るなど)



航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します







コロナ禍の状況下においては、「ダーティー·ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、知識の欠如の影響 が大きくなる傾向があります。



今日の急速に変化するハイテク環境にあっては、作業を遂行するために必要な知識のレベルを維持していく必要があります。一方、トレーニング等が延期されている現状では知識のレベルを維持するのが一層困難になっています。

- ✓ トレーニングを受け、資格を取得しない限り、部品を修理するのはやめましょう。
- ✓ 機器の設置や部品の修理をどのよう に行えばよいかわからない場合は周 囲に助けてもらいましょう。



航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します





コロナ禍の状況下においては、「ダーティー·ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、チームワークの欠 如が目立つ傾向があります。



コロナ禍による感染予防対策を実施する中で、チームワークの欠如は製造作業や点検保守における安全性へのリスクを一層高めます。

- ✓ 作業ミスが発生しないように、複数 人で手分けして行うべき作業につい て話し合いましょう。
- ✓ チームのメンバーの間で均等に作業 を割り振りましょう。



航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します







コロナ禍の状況下においては、「ダーティー·ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、リソース不足が顕 著となる傾向があります。



私たちは現在、コロナ禍前に比べ業務 を遂行するのに必要なリソース(人 材、資材)が不足するリスクに直面し ています。私たちのサプライヤーも同 様の問題に直面していると考えられま す。

- ✓ リソースが不足した場合は、遠慮なく作業を延期してください。
- ✓ 作業を終わらせるために、足りない 部品を互換性のない部品で補うよう なことは絶対にしないでください。



航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します







コロナ禍の状況下においては、「ダーティー·ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、自信過剰が悪影響 を及ぼす傾向があります。



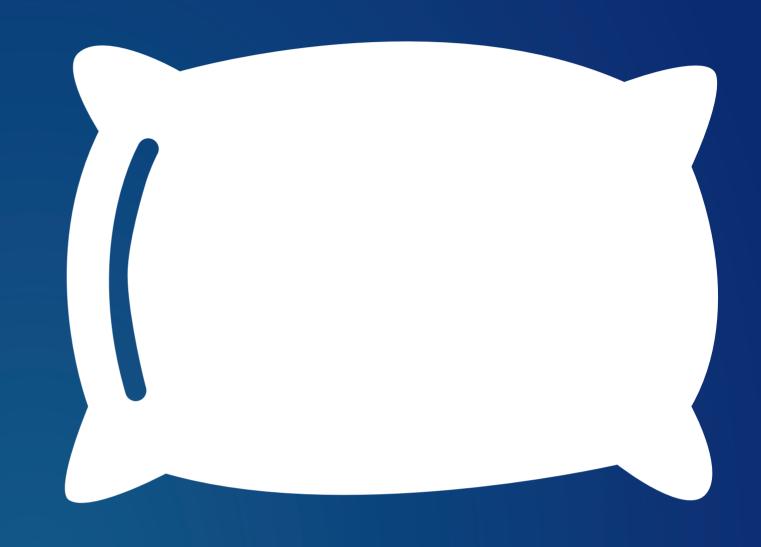
作業手順を完全に習得すると、自信過剰となる事があります。コロナ禍により予防対策がいつもより手薄になっている可能性があります。

- ✓ 簡単な作業でも、常に自身の行った 作業を確認しましょう。
- ✓ 異常がないか常に注意を払うように してください。
- ✓ 十分確認するまでは、絶対に確認サインをしないでください。



航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します







コロナ禍の状況下においては、「ダーティー·ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、疲労も増大する傾 向があります。



現在、今まで以上に疲労が問題となっています。疲労によって注意力や警戒心が低下しますが、これは航空業界での作業において非常に危険です。

- ✓ 自分自身や同僚の疲労の兆候に気を 配りましょう。
- ✓ 疲れているという自覚がある時は、 複雑な作業に十分注意を払いましょ う。周囲に助けを求めましょう。



航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します

自己主張の欠如





コロナ禍の状況下においては、「ダーティー·ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、自己主張の欠如が 影響する傾向があります。



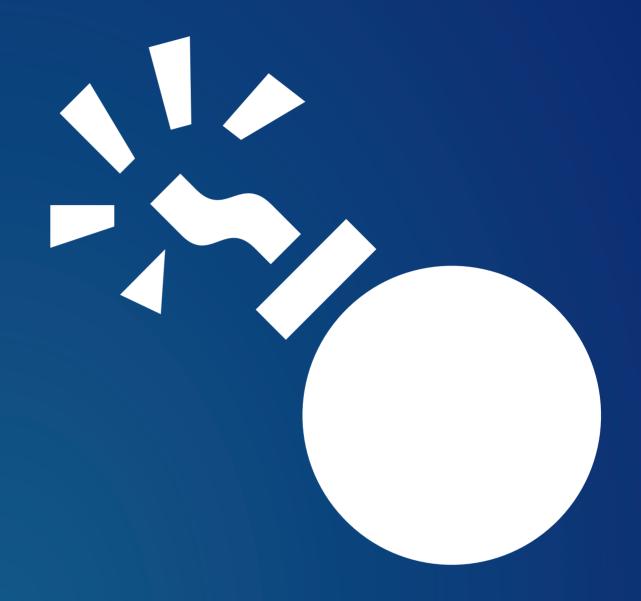
感染予防対策によりコミュニケーションが困難となり、自己主張の欠如による問題が起こりやすくなっています。 何かが正しくないように見えても声を上げるのをためらってしまう可能性があります。

- ✓ 何か危険なものを目にしたら、遠慮 せず知らせてください。
- ✓ 同僚に意見を求め、建設的な意見は 積極的に受け入れましょう。



航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します







コロナ禍の状況下においては、「ダーティー·ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、ストレスも増大す る傾向があります。



コロナ感染者数や企業の従業員解雇など、メディアが伝える情報によって人 々のストレスが高まることがありま す。

- ✓ ストレスを感じたら、そのことを同僚に伝え、あなたの作業を見てもらいましょう。同僚に気を配るようにしてください。
- ✓ バランスの取れた食事、運動、十分 な休息を取ることでストレスを低減 することができます。



航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します

状況認識の欠如





コロナ禍の状況下においては、「ダーティー·ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、状況認識の欠如に <u>陥る傾向があります。</u>



通常時でも、繰り返しの作業をしていると認識力や警戒心が低下する傾向があります。コロナ禍の状況においては、この傾向はさらに強まります。

- ✓ 慣れた作業であっても、誰かにあな たの行った作業を確認してもらうよ うにしてください。
- ✓ あなたの仕事が基準に反していない か、確認してください。



航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します







コロナ禍の状況下においては、「ダーティー·ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、日々の作業における悪い習慣の影響が大きくなる傾向があります。



いつでもどこにでも、私たちの大多数 が従い許容している不文律はありま す。こうした悪習は、定められた品 質·安全基準を損なう可能性がありま す。

- ✓ 問題ないように見えるからといっ て。
- ✓ それが必ずしも正しいわけではありません。
- ✓ 周囲の人と同じようにするというこ とが正しいとは限りません。

